

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/26】

男子5-7戦2

福岡県選抜

9

3	－	6
2	－	3
3	－	5
1	－	3

17 三重県選抜

PSO

太田 一誠

審判:

原 汐音

この試合のプレー集計

福岡県選抜	25	SH数	25	三重県選抜
	3	速攻数	4	
	14	ST・SB	12	
	3	SH・P誘発アシスト	11	
	6%	GK阻止率	40%	
10	EX反則数	6		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

5位決定戦進出をかけた「ヤマ」の残りを決める一戦。両チームともに準々決勝(群馬－福岡、三重－石川)では第1ピリオドで劣勢に立たされて、後半は何とか粘れるようになっていたことから、立ち上がりをどのように展開するのかという戦術も重要になってくるであろう。双方の攻撃力には大きな差がなく、いかに効果的なディフェンスで優位に立てるかが勝負の分かれ目となりそうだ。

【1P】

予想通り、積極果敢というより静かな立ち上がりだったが、三重が退水を誘発して⑦小坂が決めて先制点をマーク。さらにセンターポジションで得た退水から上手くボールを回してまたもや⑦小坂が決めて2点目、続けて⑨山内がペナルティを誘発して3点目をゲットした三重。ゲームの主導権を握った序盤となったが、福岡も退水から⑩行武が決めて1点を返した。三重が⑦小坂で点を加えると、福岡もエース④大野がセンターで取り返すという展開。三重が退水攻撃で5点目をあげ、さらに⑦小坂が自身4点目をゲット。福岡も最後に④大野が決めて、福岡3－6三重で第1ピリオド終了。途中からお互いにディフェンスがかなり甘い状況で点の取り合いとなってしまった。

【2P】

三重の攻撃ミス突き、福岡がしっかり泳いで最後は④大野が決めて2点差に。しかし福岡ディフェンスは十分ではなく、三重④山本に決められてしまって再び3点差。双方、中盤でのディフェンスがなく、センターを囲む形のディフェンススタイル。特に福岡はゴール前までボールを運ぶことができず、遠目からのシュートが増えていたが、何とか退水を奪って⑦大森が点差に詰め寄るゴールを決めた。しかし、カバーがない状態でのシュートミスから三重が速攻。たまたまペナルティを誘発して三重が追加点をあげ、4点差で第2ピリオド終了(福岡5－9三重)。

【3P】

福岡がセンタボールからの攻撃で⑧勝木が決めて点差を詰めるが、三重も直後に退水を奪って④山本が10点目をたたき出した。福岡は得点した後のディフェンスがなかなか改善されておらず、課題が多い。さらに三重は福岡のミス突いて③山崎、カウンター攻撃で⑦小坂の連続得点。しかし福岡もセンター⑧勝木が3人DFに囲まれながらもシュートを決めて応戦する。ここからしばらくラリーが続き、ピリオド終了残り1分で、福岡④大野が、対する三重も③山崎が決めて、このピリオドも福岡3－5三重で終了。合計で福岡8－14三重と6点差で最終ピリオドを迎えた。

【4P】

お互いにミスが出て、なかなかシュートにまで至らない展開が続いた2分30秒。福岡のオフェンス反則から三重が3－2速攻を④山本が決めると福岡も直後に④大野が取り返すという展開。三重がセンターからの⑥荻野のバックシュートで追加点をあげ、このピリオドも優勢にゲームを支配。最終的に福岡9－17三重で、三重が5位決定戦に進出を決めた。

どちらも点を取った直後のディフェンスに課題があり、「取って取られる」ケースが多々見られた。再開からの攻防練習は非常に多くやっていると思われるが、攻撃側が少しでも迷うような圧力の掛け方をチームで高めてほしい。